

平成23年産(22年播種) 麦類生育概況

長野県農業試験場 作物部

調査月日	項目	大麦:ファイバースノウ			小麦:シラネコムギ		
		平年	平成22(播) ~23年(産)	平年比	平年	平成22(播) ~23年(産)	平年比
越冬前 (12月15日)	草丈 cm	10.0	9.3	93	14.8	12.4	84
	茎数 本/m ²	406	626	154	564	713	126
	葉数	4.0	5.4	135	4.8	5.0	105
3月1日	草丈 cm	11.3	9.8	86	14.8	12.6	85
	茎数 本/m ²	820	1419	173	1013	1686	166
	葉数	5.8	7.1	122	6.8	7.1	104
3月15日	草丈 cm	11.6	10.4	89	17.2	13.3	77
	茎数 本/m ²	934	1848	198	1325	1759	133
	葉数	7.0	7.9	113	7.7	8.3	107
幼穂形成期		2月28日	2月28日	0	3月18日	3月22日	+4
茎立期		3月21日	3月25日	+4	4月2日	4月5日	+3
出穂期		5月2日	5月9日	+7	5月9日	5月14日	+5
成熟期		6月10日	6月19日	+9	6月25日	6月26日	+1
成熟期	稈長 cm	89	97	109	90.5	82	91
	穂長 cm	4.9	5.1	103	8.7	8.1	94
	穂数 本/m ²	378	625	166	539	510	95
収量	子実重 kg/a	63.3	70.7	112	69.2	64.1	93
	容積重 g/l	726	704	97	817	781	96
	千粒重 g	40.2	37.3	93	40.8	40.3	99

※平年値は過去8年間における最大値と最小値と異常高温年の平成18年を除いた平年値

<耕種概要>

栽培様式: 30cm条間ドリル播

播種期: 大麦 平成22年10月27日、小麦10月27日 播種量: 7kg/10a

施肥量(N): 基肥 6kg/10a

<生育概況>

越冬前

12月15日現在、大小麦ともに草丈は平年より短い、葉数、茎数はともに多い。

越冬中

3月1日現在

越冬前と同様の傾向で、草丈は短く、葉数、茎数は平年に比較してかなり多い。

3月15日現在

3月1日と同様の傾向である。

幼穂形成

~茎立期

幼穂形成期は大麦平年並、小麦で4日遅い。茎立期は大麦・小麦とも3、4日遅い。

出穂期

春先からの低温により平年に比較して大麦は7日、小麦は5日遅れた。

成熟期

大麦は出穂期から遅れが回復せず、平年より9日遅れたが、小麦は6月中旬以降の高温で回復し1日遅れとなった。大麦は稈長、穂長は平年より長く、穂数はかなり多くなった。小麦は稈長、穂長は短く、穂数は少なくなった。

収量

大麦は平年よりかなり多収となった。容積重はやや軽く、千粒重は軽く、小粒となった。小麦はやや低収となり、容積重は軽く、千粒重はほぼ平年並であった。